

産業建設常任委員会審査概要報告書

委員長 中川 加津代

- I 開催年月日 平成 30 年 6 月 25 日 (月)
- II 会議時間 午後 1 時 41 分～午後 2 時 00 分
- III 出席委員等 [出席委員] ◎中川加津代 ○本田 利麻 瀬川 侑希
山口 泰祐 酒井 善広 金平 直巳
樋詰 和子 曾田 康司 大井 正樹
(◎…委員長 ○…副委員長)
- [議長] 狩野 安郎
- [副議長] 福井 直樹
- [説明員] 別紙名簿のとおり
- [委員外議員] 林 貴文 高瀬 充子
- [事務局職員] 安東 浩志 松本 武司 宮島 謙治
柚原 規泰
- [傍聴者] なし

IV 審査の概要

1 付託議案について

- 議案第 97 号 工事請負契約の締結について
(（仮称）戸出西部金屋産業団地南工区敷地造成その 1 工事)
- 議案第 98 号 工事請負契約の締結について
(（仮称）戸出西部金屋産業団地北工区敷地造成工事)

以上、議案第 97 号及び議案第 98 号については、審査の結果、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決した。

〈 審査の過程における質疑等は次のとおり。 〉

【議案第 97 号及び議案第 98 号について】

- 企業団地造成に伴う企業誘致は、激しい都市間競争にさらされ、楽観視は許されないが、その情勢認識と覚悟は。
- △ 県内においても各自治体で企業団地を造成しており、1 日も早く団地を完成させ、造成と並行して企業誘致活動を進めることが大切と考えている。工期短縮に向け、請負業者とは綿密に連絡を取っていきたい。

- 低価格での入札であり、一旦、入札不調となっているが、工事の品質や適正な労務賃金の支払いの確保についての考え方は。
- △ 高岡市低入札価格調査制度要領に基づき、工事の品質確保や安全管理についても、その内容について十分審査するとともに、下請け企業等の負担増とならないよう、当該企業から入念に聴取し確認した。今後、本契約を締結するに至った場合、その点について、引き続き留意していきたい。
- 請負業者への支払いについては、下請け業者の育成の立場から、現金の比率を高めるなど留意してもらいたい。考えは。
- △ 本契約締結の際に十分留意するよう努めていきたい。
- どれくらいの誘致企業数を想定しているのか。
- △ 公募前であり具体的な数字は無いが、入居企業の規模や要望に応じて、今後ある程度工事が進んだ状態で、具体的な区画数を決めたい。
- 低価格での落札となったが、本当に工事の品質が確保され、安全な工事現場が保たれるのか。
- △ 低入札価格審査会において、業者と市の設計及び契約関係課で労務単価、材料等について確認したうえで、施工可能と判断し、請負業者を決定した。審査会では、直接工事費、共通仮設費、現場管理費、一般管理費等の各設計率を比較し、業者の手持ち工事数や過去の工事点数を考慮したうえで、総合的に判断して施工可能と判断した。
- 市内の製品や材料を工事に使用することを担保するとともに、下請け業者への工事の丸投げや、白ナンバー車両の使用がないように管理する考えは。
- △ 本契約締結の際に、改めて請負業者に確認するとともに、産業企画課において、しっかりと監理監督していきたい。

[討論]

(議案第 97 号及び議案第 98 号に賛成の立場から)

- 工事の品質確保や下請け企業に対する労務賃金の支払いについては、厳重に監督指導してもらいたい。

〈 以上で委員会を閉じた。 〉

産業建設常任委員会 当局説明員（12名）

産業振興部長	川 尻 光 浩	都市創造部長	堀 英 人
産業振興部次長 参事	宮 本 哲 哉	都市創造部次長	川 上 孝 裕
産業振興部参事（兼務）	渡 辺 朋 洋	都市創造部参事	渡 辺 朋 洋
産業企画課長	新 保 貴 之		
		上下水道事業管理者	黒 木 克 昌
福岡総合行政センター所長	鶴 谷 俊 幸	上下水道局次長	嘉 信 和 昭
福岡総合行政センター次長 地域振興課長	末 坂 進	上下水道局次長 下水道工務課長	小 嵐 正 吾
農業委員会事務局次長	大 野 裕 隆		